

# 第39回内田地区文化祭

## 第18回内田地区福祉ひろばまつり



平成 27 年 11 月 1 日 現在

世帯数	948 戸
人口	2,431 人
男	1,219 人
女	1,212 人

今年度も無事、第三十九回内田地区文化祭・第十八回内田地区福祉ひろばまつりが開催されました。

プレイベントのこども文化祭では、腹話術や珍しいカード・ボードゲーム、さらには紙飛行機づくりやぬり絵で楽しみました。

文化祭・ひろばまつりでは、サークルや団体の皆さんに日ごろの練習の成果をステージ発表の場で披露していただき、また明善中学校三年一組の皆さんによる合唱や、地区の皆さんで踊るササラ踊りで大いに盛り上がりました。

公民館を会場とした作品展示はいずれも力作ぞろい、旧公民館の会食コーナーでは豚汁とおにぎりが振る舞われ、駐車場を利用したフリーマーケットではお買い得品がいっぱいと、盛り沢山の内容でした。

内田地区三大大行事の締めくくりでもあり、多くの人で賑わい、笑顔のあふれた二日間でした。



大	内
運	田
動	地
会	区

待望の、第四十九回内田地区大運動会が、九月十三日に行われました。

二年連続で雨天中止となった運動会でしたので、地域住民の皆さんの盛り上がりもひとしお。晴天とはいかないまでも、過ごしやすい気温で爽やかに汗をかけたと思います。成績は下記のとおりです。

<b>第1位</b> 9町会	<b>第2位</b> 4町会	<b>第3位</b> 5町会
-------------------	-------------------	-------------------



## なかしき 里を歩く

木々の色に秋の深まりを感じる十月の最終日。

公民館主催の歴史文化講座「岩村城下視察研修」に参加した。公民館だよりに関心を寄せながらも、今まで参加したことはない。今回が初参加である。したがって、幾つかの不安を抱えての参加であった。寒い朝ではあったが「天気よし」。バスに乗って、一路恵那へむけて出発。恵那インターチェンジを降りて、美濃の山峡に埋もれた八百有余年の歴史が息づく岩村町に入る。人目を引く華々しい看板や高いビルなどを目にするこ

ともなく、ただただ懐かしい農村の景色を目にし、自分の育った頃を思ったことでした。昼食後は、いよいよ岩村城跡に登城となった。「登城口から本丸跡へは八百メートル」の案内に、何の不安も覚えずに石畳に登り始めた。しかし、急な傾斜の登城坂に息も切れてきた。ゆっくりと味わい尽くすように歩いたその先に見事な石垣、六段壁の城郭である。うっそうとした木立の中に進む先をいざなう石畳、本丸へ続く重厚な石垣に触れるように登り着いた本丸跡。眼前に広がる岩村城下。山城に幾つもの井戸。戦乱の世を生き抜く人々の知恵と力の結集を

感じた。城こそないが重厚な石垣の上に立つ城が想像される日本三大山城の一つと納得した。一息ついて、重要伝統的建築物群保存地区である、商家の町並みを歩いた。藩財政を支えた幾つもの邸宅を残し、今もそのたたずまいの中で営む商店は「必要な物をどうぞ」という感じで、格子戸の向こうから漂ってくるコーヒーの香りがそれを象徴しているようだった。

幾つかの不安が始まった一日だったが、充実感のある日となった。何年振りかでお会いできた方々、ゆっくり語りう時間をいただいた方々、一人旅にご一緒いただいた皆

様、視察見学のための準備や実施に奔走していただいた関係者の皆様、楽しい時間をありがとうございました。

四町会 百瀬三子



## つれづれ編集記

海と山とどっちが好き？と聞かれたら、間違いなく海と答える。最後の日本海に面した港町で生まれ育った。海岸にはもうニシン場の活気はない。観光資源は海に沈む夕日ひとつというわびしさだ。でも、水平線に沈む黄金の夕日は本当に美しい。風の海は心を穏やかにしてくれる。荒れた海は嫌な気持ちを洗い流してくれる。海を見るとスッキリする。海が好きだ。

山の国に嫁いで二十数年がたった。でも、山は好きではなかった。上空から見る山々は蠢いて見え、まるで生き物のようだ。怖いと思った。白と黒のコントラストが怪しく恐ろしく感じる。先月、職場の親子遠足で乗鞍へ行った。プロの山岳ガイドの引率で、剣ヶ峰まで登った。彼は大学時代に山に魅せられ、山の男になったという。山の素晴らしさを熱く語った。頂上は雲上の世界だった。広がるパノラマは壮大で、その美しい景色にとっても感動した。山は怖くなくなった。毎日当たり前のように見ている景色。仕事帰りに見る山は、燃えて落ちてゆく夕焼けが、赤く染めた空と黒い稜線の切り絵を作る。海に沈む夕日にも負けないくらい、きれいだと思った。そして、一日の疲れを癒してくれる。

海と山とどっちが好き？と聞かれたら、海が好きだけど山も好きと答える。

四町会 前沢しおり

